

① 塾に通う前の問題点やご要望は何でしたか

ものづくりが大好きな次男は、中学入学前から「オレは高校には行かない、高専に行く」という明確な目標を持っていました。そのために、都立または国立の高専に合格できるだけの学力をつけることが必要不可欠な課題でした。また、次男にはニューロマイノリティの特性があり、学校という集団生活では様々な不適応が生じやすいことから、既存の学習方法では学力が巧く積み重ねづらかったり、試験で十分な実力を発揮しづらかったりする困難がありました。次男が理解できる方法で勉強を教えていただける環境を求め、フレンズアップの利用を決めました。

② 塾に通う前と後ではお子さまの何が変わられましたか

山根先生と一緒に、勉強が楽しめるようになりました。2 学年上の長男がすでにフレンズアップを利用しておりましたが、実は長男の件で初めて山根先生にお会いした瞬間から、「山根先生だったら次男も任せられそう！何とかなりそう！」という確信が私の中にありました。想像通り、次男は山根先生のごことが大好きになり、山根先生と学ぶ数学が大好きになりました。一方で、「学校で数学の授業を受けると、山根先生に会いたくなる…」と言うほど、学校の授業とは相性が悪かったです。授業態度が悪いうえに提出物の認識・管理ができず、定期テストで 100 点を取っても内申に「C」が付いたり、97 点を取っても「4」しかもらえないことは日常茶飯事でした。それでも常に山根先生が寄り添ってくださったので、次男は自己肯定感をひどく下げることなく 3 年間で過ごすことができました。

③ フレンズアップと他塾さんとの違いは何だと思いますか

この問いかけに回答するにあたり、次男に「フレンズアップにしかないものって何？」と聞いてみたところ、「山根先生じゃない？笑」とニヤッとしながら答えてくれました（笑）。私の答えもこれに尽きます。受験まで生徒一人ひとりに寄り添ってくれる、大切な伴奏者です。しかし、受験は全て山根先生に任せれば OK なのでは決してなく、時々おちょこちょいな一面があることも人間らしくて大好きです。あわてた時の山根先生のモノマネを、子どもたち 3 人（次男の一学年下の長女も通わせていただいております）が全員できます（笑）。

④ 各担当の先生に一言お願いします

山根先生、最後まで次男を励まし続けてくださり、本当にありがとうございました。本人が 3 年間、高専受験のために頑張り続けられたのは、山根先生のおかげです。最後は学校にも行かなくなり（学校に拒否されたのもありますが）本当に心配しましたが、山根先生と一緒にいさせていただくことで、とても安心して受験を迎えることができました。都立高専は残念でしたが、チャレンジだった国立高専に合格することができ、本人の夢も叶いました。次男の大切な 3 年間、ずっとそばで支えてくださり、味方になってくださり、本当にありがとうございました。

文系科目の先生、ニューロマイノリティの特性もあり、「字を書くこと」「読むこと」そもそもに苦難がある次男が、都立高専でも国立高専でも国語と英語でこれだけの得点が取れたこと、本当に信じられないくらいの快挙です。ありがとうございました！高専受験は得意な数理だけではどうにもならないため、国語と英語でどれだけ点数を取れるかがとても心配でした。忘れものをたくさんして、困らせてしまったことも多かったと思います。最後までサポートしていただき、本当にありがとうございました。